

朝風

第8号

発行 仙台市スポーツ少年団
責任者 広報委員会
印刷 (有)協和プリント



SENDAI

(平成14年度)

団員数	292名
指導者数	7,559名
指導者数	1,313名

スポーツ少年団のあゆみと理念

仙台市スポーツ少年団

本部長 筒井 久美子

日本体育協会が創立五十周年記念事業の一環として昭和三十七年六月、日本スポーツ少年団が「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを！」「スポーツを通してからだところを育てる組織を地域社会の中に！」を目的に創設されました。

二年後の昭和三十九年十月、日本で初めて開催された第十八回オリンピック東京大会では、国旗掲揚、聖火リレーなどに協力しスポーツ少年団の活躍が広く知られることとなりました。

現在では、全国三万四千団、百十一万人のメンバーと我が国最大の青少年スポーツクラブまで発展いたしました。

仙台市では、昭和三十九年に仙台市体育協会にスポーツ少年団を設置し二十団からスタート致しましたが、平成十三年度の登録は二百八十一団、八千五百七十七人のメンバーとなりました。

スポーツ少年団創設当時はスポーツと言えば体力

念は五章から成りたっています。

第一章 平和への二つの道

スポーツは国民のすべてに、新しい生き方をあたえ、新しい人間を作る。

第二章 スポーツの本質

スポーツとは何か？ チャンピオンシップだけではなく子供たちから女性、高齢者、あるいはハンディのある人、すべての人が楽しめる「みんなのスポーツ」として考えています。

第三章 スポーツの効果

スポーツ、運動をすることによって、体力、バランス、敏捷性、呼吸循環機能などが高まる、オールラウンドな基礎的運動能力を身につけさせることが、一番大切なことです。

第四章 スポーツ少年団の指導原理

スポーツ少年団の目的は「スポーツの場を通しての教育」つまり少年たちをりっぱな社会人に育てる人間形成の場であります。

第五章 時代の要求する少年像

スポーツ少年団がスポーツを通して育てたい少年の理想像は時代と社会が求めている少年の姿です。

少年たちの環境は大きく変わってきましたが、少

年団の基本的な考えは今も変わっていません。

仙台市スポーツ少年団本部事業として全団一堂に会しての入団式、北海道白老町スポーツ少年団との交流、ジュニア・リーダーズスクール開講、これらの事業は地域を越えた団員たちとの交流、リーダー育成、そして指導者養成講習会、単位団が円滑に活動できるよう団をささえて下さる母集団研修会などが行われます。また、各区少年団でも週五日制に伴い余暇時間を視野にいたした「みんなのスポーツ」と考え計画を立てています。

また、少年団の理念を御理解いただき、積極的に各事業に参加し、さらなるスポーツ少年団発展に御尽力をお願いいたします。

みんなが楽しめる入団式にしたい

仙台市スポーツ少年団組織強化委員会

委員長 土井 章 由

さる四月十三日(土)に仙台市スポーツ少年団の入団式がシェルクムセンダイで盛大に開催されました。

団員、指導者及び母集団総勢約二千八百名の参加者があり、前年より大幅な増員となりました。昨年の反省を踏まえ、①式典時間の短縮化、②交流会の午前中開催、③交流会の内容見直しなどを図り、年一度のイベントに参加者が楽しめるよう工夫しました。

式典は団員の入場行進で始まりましたが、グラウ

ンド一杯に一斉行進する方式を初めて採用しました。ぶっつけ本番でしたが、全員が一同に前進する様は迫力があり、一糸乱れぬ見事な行進でした。式典の最後は、吉成サンシャインミニバスの蝦名和紀君と六郷スポーツ少年団剣道部の小幡彩羽さんが「わたしたちの成長を楽しみにして下さい」と誓いのことを結びました。

交流会では昨年までの内容を一新し、①〇×クイズ王選手権、②じゃんけんチャンピオン決定戦、という全員参加型のゲームで楽しみました。勝ち残れば景品がもらえるとあって一問ごとに団員は歓声をあげながら大いに盛り上がっていました。

式典後すぐ実施したこともあり多くの団員が残って参加してくれました。

当日は役員の皆様、リーダー会、各団の指導者の方々にスタッフとして協力していただきました。厚く御礼申し上げます。次回の入団式も知恵を絞りより一層楽しい内容を検討してまいります。



〈朝日新聞スポーツボイス提供〉

参加状況	団 員 数	
泉 区	50 団	730 名
太 白 区	23 団	466 名
青 葉 区	24 団	410 名
宮 城 野 区	14 団	176 名
若 林 区	11 団	140 名
新 規 団	19 団	33 名
計	125 団	1,955 名



〈朝日新聞スポーツボイス提供〉

平成十四年度

仙台市スポーツ少年団委員総会

平成十四年度仙台市スポーツ少年団委員総会が、四月二十四日（水）午後六時から青葉体育館の会議室で開催されました。

出席者三十六名、役員十四名、委任状一六七名、計二一七名で会議が成立し、筒井本部長の挨拶のあと、仙台市教育局生涯学習部スポーツ課武田課長に祝辞を頂き、筒井本部長を議長に選出して総会が始まりました。

十三年度の会務及び事業報告、収支決算と監査報告され、全員一致の承認された後、十四年度の事業計画や予算についての趣旨説明が各委員から報告されました。

恒例の会議ですし、年度初頭ということもあり各単位団もまだ活動を展開しておりませんので、質疑応答も単発気味で平穏な総会に終始しました。年々感じてきたのですが特に最近社会環境の悪化や家庭の事情など皆様色々御多忙のこととは思いますが、総会では直接自分達の団の運営に係ることも一杯ありますし、年に一度の総会ですのでぜひ御参加頂きたいと思います。また、スポーツマンとして最低出欠の返事を出すか委任状を提出するなどの行動を起こしてもらいたい。会議運営側も形式ばった議事報告一辺倒にならない様議事進行に工夫してもらいたい。

「ワン・フオウ・オール・オール・フオウ・ワン」

仙台ラグビースクール事務局

小笠原 浩

昭和四十七年五月にスクールが発足してから、今年で三十一年目になります。

当時のテーマは「子供らしく元気はつらつと青空と太陽の下で、思う存分一杯跳びまわりラグビーを通じて、体力はもとより自主性、協調性、忍耐力を身につける」ことに取り組んできました。

近年日本は、少子化でラグビーにかぎらず、スポーツをする子供達が減少傾向にあります。家にいながらインターネットやファミコン等のゲームでスポーツ感覚が楽しめる時代です。しかし、実際外に出て、走る、跳ぶ、ボールを投げる、受ける、蹴ることなどが出来ない子供が多いのです。そして外で遊ぶ子供を見かけなくなりました。でも、ラグビースクールの子供達は、外で元気にボールを追いかけたり、相手のタックルで転んだりしても、泣かずに起き上がりまた走って行きます。人とぶつかった時や転んだ時の痛みを知っているのです、他の人にもやさしくできるのだと思います。

ラグビーは身体の大小や、足の早い遅いに関係なくそれぞれに適したポジションがあるのがラグビーの良さでもありおもしろいところでもあります。

現在の部員は五十名で、仙台市を中心に近隣の市の二十四小学校、四幼稚園から集まり、毎日曜日の午前中に県第二グラウンドで練習しております。また、一年交互に秋田・岩手・福島ของทีมとホームステイをし、交流を深めると共に、親離れ子離れの練習もしています。

最後に、ラグビーの基本精神「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を今後の社会に生かし、頑張ってほしいと願っております。



第十六回白老交流遠征会を終えて

白老交流遠征団長 佐藤 伸光

本年は第十六回目の交流会で仙台より団員、指導者ら合せて七十七名が白老町を訪問しました。種目も野球、サッカー、バスケット、バレーで、二泊三日の日程ですが団員は全員ホームステイをし、スポーツ交流、リーダー交流など盛り沢山のスケジュールを消化しました。最終日は白老の皆様とお別れをした後、札幌市内や夏の北海道を見学して来ました。

白老滞在中は受入家庭は勿論のこと、スポーツ少年団本部の方々にも大変お世話になり心より感謝申し上げます。今後共本交流会を通し仙台市、白老町スポーツ少年団の益々の発展を期待し、末永く継続される事を願うものであります。

白老町スポーツ少年団事務局 民部 宏治

今回で十六回目を迎えましたこの仙台市・白老町交流事業まずは、ご尽力頂きました皆様に感謝申し上げます。

毎年この研修で一番印象的なのは、子供達の表情の変化です。仙台市の子どもも白老町の子どもも喜怒哀楽をめいっばい使うこの交流事業は、非常に重要な経験であります。互いのスポーツ少年団の発展のためにも、スポーツの技術の向上も大事な一つであります。子供達の感情も育てなければならぬいのではないのでしょうか？ そのためにも、この交流は子供達がいる限り続けていきたいと思えます。

お互い環境が違い様々な問題が出てきますが、この長年築き上げてきた友情は、引き継いで行かなければならないことを肝に銘じ、また、来年お世話になりたいと思います。末永くよろしくお願い致します。

思い出の白老町

茂庭台ライオンズ 小金澤大樹

ぼくたち野球部員は、七月二十六日から二十八日まで白老町スポーツ交流会へ参加しました。とても楽しかったです。一日目は、結団式、二日目は、試合をし、三日目は、ビール工場を見学してジンギスカンを食べました。楽しくてあっというまの三日間でした。ホームステイも楽しかったし白老町に友だちができてうれしかったです。夏休みの大切な思い出になりました。また北海道に行きたいな。



胸がじーんとしました

国見野球 佐藤銀河

白老についたばかりの時は、何となく不安でした。でも、白老の人達はみんなとてもやさしかったのでほんと安心しました。うちは家族が少ないので、大勢で食事をしたり、温泉に入ったり、お祭りに行った事が本当に楽しかったです。帰りの時、ホームステイ先の佐藤さんたちが、わざわざ空港に来てくれた姿を見て、胸がじーんとしました。ぼくは白老に行って本当に良かったと思います。

白老町で圧勝

南光台ミバスケット 真壁雄一

ぼくは、交流会でたのしかったことは試合でした。試合は白老町のチームとごちゃまぜにしました。試合は42-10であっというまにしました。ホームステイさきの人たちといっしょに、はじめてホテルを見ました。あと白老町の花火たいかいも見られてよかったです。さいごの日に札幌にいきました。札幌ドームも見ました。北海道にいてよかったです。

すつつつごく楽しかった

南光台東バスケット 三浦ひと美

私は、七月二十六日～二十八日まで、二泊三日で北海道の白老に行ってきた

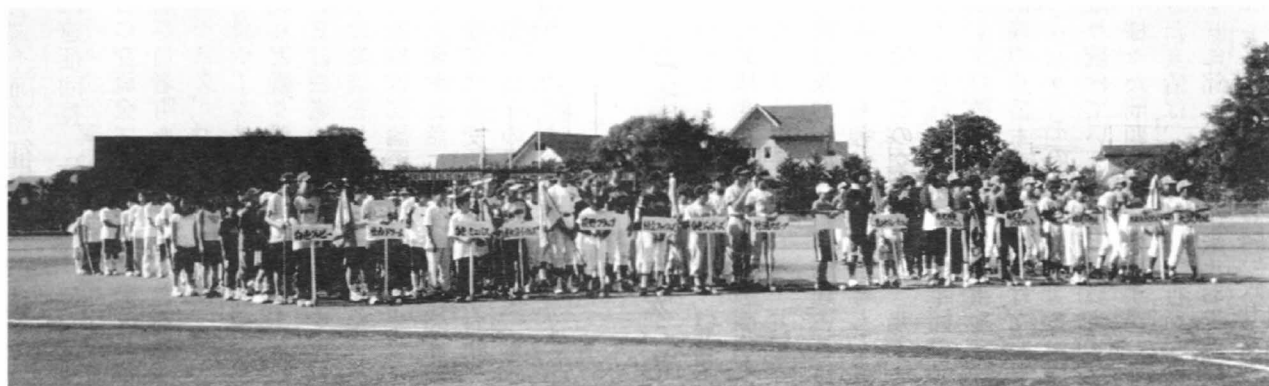
した。ちょっとだけ寒かったです。北海道で一番楽しかったのは、二日日夜に白老の友だちといっしょに山口さんの家に泊った事です。四人で同じへやでねた時に、おしゃべりがすつつごく楽しかったです。札幌観光では、サッポロビール園がばんきょうになってよかったです。また、何か、きかいがあれば行きたいです。

北海道グルメの旅

SKサッカースポーツ少年団

高橋明宏

ぼくは、七月二十六日から七月二十八日まで北海道に行ってきました。二十六日の午前十一時三十分ごろ、千歳について、バスに乗り白老に向い、十三時ごろコミュニケーションセンターで、かんげいしきをやってもらいとてもうれしかったです。べんとうがおいしかったです。ホームステイ先の家がきれいかったです。二十七日、朝ごはんがおいしかったです。かいがい式のときあつかったです。プールがたのしかったです。バーベキューがたのしかったです。ボウリングがたのしかったです。二十八日は、とうもろこしがおしかったです。ジンギスカンがおいしかったです。



ジュニア・リーダースクール

仙台市スポーツ少年団リーダー会

堀越 貴 絵

私がリーダーとして活動を始めたのは、今から九年程前の中学一年生の時である。当時を振り返ってみると正直記憶に薄い部分がある。しかし、現在の自分を改めて見直した時、これまでのリーダーとしての活動に自信と誇りを持つことができるように思う。私は、スポーツ少年団を通し大きく二つの力を身に付けることができた。一つ目は「判断力」である。小学生から中学生と共に活動する中で計画通りに活動を展開することは難しい。前後の活動を踏まえ、自分は今、どうするべきであるのか、冷静に判断することの大切さを学んできた。二つ目は「待つ」という力である。リーダーとして団員の手本になること、率先して活動を行うことは大事なことである。相手の目線に立つこと、そして思いやりの心を持って接することも必要である。が、団員にとって自ら実践し、失敗してそこから新しい何かを得ることで学んでいける場を与えてあげることもしリーダーとして求められることではないだろうか。助言することはできて「待つ」ということは容易ではないと思う。団員をしっかり見ることが「待つ」という力に結びつくのだといえる。

今、私たちリーダーの最も求められていることは自分たちの活動をより多くの方々に理解していただくことである。どんな活動をし、その活動から得られるものは何であるのかをリーダー一人一人が意識した上で活動を行わなければならない。これまで、

各自が経験してきたリーダーとしての活動には誇りがあると思う。周りのリーダーや指導者の方々と共に十分な連携を図りながらリーダー会の活動をより活性化させていきたいと思う決意である。

仙台市スポーツ少年団リーダー会

新会長 佐藤 宏 恵

私は今年の四月に仙台市スポーツ少年団リーダー会の会長の仕事を引き受けることになりました。今までは、大学生の先輩方を中心に活動に参加してきました、これからのこのままの立場で続けていけると思っていました。しかし、リーダー会の年齢制限の規定により、今年いっぱいリーダー会を卒業することになり、先輩方から私達の年代へとリーダー会をまとめる仕事を引き継ぐことになりました。

今回会長として初めてジュニア・リーダースクールに参加しました。どのようにして進めていくか、きちんと全体に目を配れるかなど不安なことがたくさんありましたが、指導者の方や先輩方に段取りし



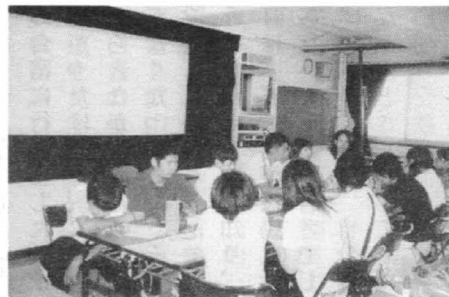
グループ発表

ていただき、事前研修から本番まで無事に終えることができました。

今回、事前研修前の打ち合わせが少なく、ジュニア・リーダースクールの前日にリーダー会だけ前泊し打ち合わせをする形をとりました。当日に行うことを下準備し、どれくらい

時間がかかるのか確かめ、各リーダーの役割を最終確認しました。

活動内容は、講話、レクリエーション、創作活動、体力測定などでした。講話は、指導者の先生とリーダーによる「スポーツ少年団のリーダーとは」でした。リーダー会では東北大会、全国大会、



リーダー会の打合せ

シニア・リーダースクール、ドイツ交流の話など自分達が今年体験してきた話をしました。受講した団員もとても興味深く聞いていたようです。私も今年シニア・リーダースクールに参加してきた話をしました。シニア・リーダースクールに参加し、リーダーの役割や活動のあり方、仲間作りなど勉強になる研修を受けてきての参加で今までは違う気持ちで話しをすることができ、自信もついたような気がします。

会長を引き受けてみて、何をしなければならぬかと考えてみたとき、団員全体に目を配ること・その場に應じた的確な判断ができること・先々の事を常に考え指示できること、表に見える仕事だけではなく、陰になって働くことなどが大切なことだと思います。

私がリーダー会に入ったきっかけは、みんなに慕われ、はじめがあり統率力ある先輩にあこがれてだったので自分もそういう面を持ってこれから頑張っていきたいと思っています。

野球スポーツ少年団

成戸陽子

私は、小学四年の時に野球スポーツ少年団に入りました。そして中学三年生までの八年間、そのスポーツ少年団「国見リトルベアーズ」に入っていました。八年間ずっと、男の子の中、女の子一人でした。入った時の頃は、あまり違和感を感じてはいませんでした。したが、学年が上がって行くにつれて、だんだん違和感を感じるようになり、周りの男の子を見ていると、体力的にも差を感じるようになっていきました。周りも、私が女の子だという事をいつのまにか意識しているようになっていました。自分的には「女の子だから」と思われるのが嫌だったので、髪を短くして、できるだけ、男の子の中に溶け込もうと思いました。私は、体力的にも、技術的にもチームメイトにおいていかれているような気がしました。周りのチームメイトからも、そんな風に思われているのではないかと怖くなった時期もありました。今思うと、確かにチームメイトはそんな風に思っていたかもしれないけれど、その時は、そんな風に考えれば考えるほど、自分が嫌になってくるので、その時はあまり考えない様にしていました。それでもただ男の子に負けるのだけは嫌だったので、やる気だけは負けない様にしました。練習も休まず出る様にしていました。今、私は、高校でソフトボールをやっています。その中で、私がスポーツ少年団で学んだ事はかけがえのないものとなっています。また、スポーツ少年団に入っていた事は、リーダーになるきっかけを与えてくれました。今、昔の私の様にスポーツ少年団で野球をやっている女の子達へ、どうか最後までがんばって続けて下さい。中で得るものは多いはずです。どうかその事を胸に置いてこれからもがんばって下さい。

「SHIPS」大会に参加して

西山和人

八月六日から八日まで、横浜市で開催された第八回全国スポーツ少年団SHIPS交流大会に宮城県代表として、小学四・五・六年各学年男女一名ずつと共に参加してまいりました。

初日は、受付後記念撮影、入所式・オリエンテーション、団員は実技指導、指導者は講習会と運営委員会と盛り沢山のスケジュールに追われながら夢路へ。

二日目は、酷暑の中、三ツ沢競技場で開会式が行われた後、ほかの競技別大会では味わえない各種のニュースポーツを取り入れた楽しい競技が行われました。流鏑馬（やぶさめ）、ゲートカーリングボール等は弓矢を初めて射る子やスティックを初めて手にする子など皆さん試行錯誤の中、暑さとの戦いが一番の様でした。みなと未来博をバスで見学しながらホテルに戻り、夕食後盛大な交歓交流会に参加しました。

最終日は別れの集いが催され、終了証書の横に各県の友達に一言とサインを書いてもらい、楽しい思い出と新しい友達等と共に閉会式に臨みました。

「SHIPS」とはスポーツ少年団のニックネームで、スポーツ少年団という大きな船、大きな集合体という意味です。また、スポーツ少年団の目指す、スポーツマンシップ、フレンドシップ、リーダーシップ、メンバースhip、を表しております。

今回大会に参加できなかった君達も、この精神のとおり、元気に楽しく活動し、ひとりでも多くの友達を作るよう頑張ってください。



楽しかった三日間

つばめ沢

四年 横田実咲

この三日間楽しかったです。一日目、私は新幹線に乗ったことがなくドキドキしました。電車をおりてホテルまであるいて行つてつかれました。

二日目、三ツ沢きょうぎ場に行き、五種類のSHIPSきょうぎをしました。全部下の点だったけれど、ものすごいあつい中みんながんばってよかったと思います。三日目、八景島シーパラダイスのイルカ、アザラシのショーすごかったなあ。水族館の中にも大きな足のかに、かわいいうしほのエビ、大きな海ガメ、いっぱい大きなサメなどすごかったです。この三日間の思い出を忘れないでください。この三日間すごく楽しかったです。ありがとうございました。

横浜の合宿の感想

青葉空手道

四年 小笠原由也



ぼくは、初めて横浜の合宿に行きました。家から仙台駅までおなががいたかったけど、駅についてからいっしょに行くお友だちとなかよくなり、いつのまにかおなかのいたみがなくなっていた。そして、新幹線に乗って横浜に向いました。ホテルに着きサッカのブラジル代表がとまったホテルと知り、感じました。二日目の日は、バスで競技場に行きました。とても言葉にならないくらい暑かったです。その後、スポーツゲームを五種目やり、自分が思っているいじょうになかなかときませんでした。でもたのしかったホテルに帰り交歓交流会では、他県

の人とプレゼントを交換したり、友達になれてうれしかったんです。とても楽しい三日間でした。また、参加したいなあと思いました。夏休み前まで仙台の青葉空手にいた永井君兄弟にあつたのもうれしかったです。前よりも強そうに見えたので、僕ももっとがんばろうと思いました。

SHIPSについて

つばめ沢

五年 横田 華成

八月六日～八日まで横浜に行きました。仙台と横浜では、気温がちがうくて、すごくあつかったです。一日目は、オリエンテーションをしました。二日目は、運動をしたりしました。三日目は、お別れ会のあとシーパラの水族館についてイルカショーを見ました。ほかの所にもいきました。おみやげもかって帰りました。仙台駅に着いたのは、七時すぎでたけどSHIPSでは友達がいっぱいできたのでよかったです。まりなちゃんともいっぱいしゃべれたので、楽しかったです。

シップスのかんそう

向山ファイブパインズ

五年 大村 健太



八月の六～八日まで、横浜プリンスホテルにとまりました。その日よる、やけいがきれいだったので写真をとりました。つぎの日はバスで三ツ沢の競技場にいきました。SHIPSの色んなきょうぎをしました。はじめのばかりでまけてしまいました。バスでかえるとちゅう、みなとみらいはくをみました、といってもぼくはねていました。そのつぎの日

は、へいかしいきがおわってから、シーパラダイスにいきました。ひるはバイキングでいろんなものをたべました。あとはシロイルカとかのショーを見ました。とてもすごかったです。あとおみやげをかってしんかんせんにつけて仙台につきました。とてもおもしろかったです。

シップスに参加して

向山ファイブパインズ

六年 神山 亮

ぼくは、SHIPS交流大会に参加するのをきまつた時すごくうれしかったです。当日まで横浜にいたらどんなことをやるのかわくわくして楽しみにしていました。その次の日には、三ツ沢競技場へ行き、いろんな新しい競技をやっても楽しかったです。その日よるの交換交流会がありもってきたおみやげを交換したり、ゲームなどもしました。三日目の朝、別れの集いでは、参加証にいろいろな県のお友だちにメッセージを書いてもらいました。短い三日間でしたがとても楽しかったです。

SHIPS交流大会に参加して

青葉空手道

六年 山口 万里奈

初めてSHIPSに参加しました。出発の前、私は、(知らない人ばかりの中で三日間も大丈夫かな? お友達ができるかな?)と、ドキドキしました。仙台からのお友達も会うのは二回目です。新幹線の中では、少し緊張してしまいましたが、だんだん楽しい気分になりました。

横浜に着いて、同じお部屋になったお友達と仲良

くなりました。参加した人みんながスポーツをしているので、自分がしている競技のことで話は盛り上がりしました。私が空手を習っていると話すと、みんなびっくりしたようでした。空手をするように見えないのだそうです。(カワラを割ったりするのは、ちがうんだけどなあ。)と、思ったので、みんなに空手の試合のことを説明しました。みんなも自分の習っている競技のことを話してくれて、とても楽しかったです。

二日目は、三ツ沢競技場で各県対抗の競技会がありました。とても暑い日でしたが、私は頑張りました。でも、他の県の選手達が強くて、私達のチームは、リレーも五段飛びもやぶさめも、ゲートカーリングも、全部負けてしまい、がっかりしました。でも、競技中、他県の人達と、前の日よりもっとお話ししたり、交流ができました。

三日目は、解散の後、引率の西山先生と、八景島シーパラダイスに行きました。とても楽しかったです。帰りの新幹線が仙台に近づいた時、ほっとしたような、でもちょっとさびしいような気持ちになりました。それは、習っている競技がちがうと、もう会えないかなと思ったからです。文通したりして、いつかまた、みんなに会いたいです。SHIPSに参加できて、本当に良かったと思います。



平成十四年度新規入団

宮・中野栄ビッグスターズ
 若・荒浜ビックウェーブ
 太・大野田ホエールズ少年野球クラブ
 青・仙台スポーツシユール
 若・蒲町中男子バレーボール
 青・栗生剣友会
 太・郡山中学校
 宮・中野栄ミニバスケットボールクラブ
 太・八木山ミニバスケット
 太・富沢中学校野球
 宮・つるまきFC
 泉・黒松中学生バレーボール
 宮・仙台ジュニアクラブ
 宮・田子ウィングス
 太・仙台市立郡山中学校バスケットボール
 宮・宮城野野球クラブ
 若・蒲町中学校野球クラブ
 宮・西山中学校
 泉・泉北



〈朝日新聞スポーツボイス提供〉

サッカーのワールドカップ仙台開催!!

六日に世界最大のスポーツイベントの「二〇〇二 FIFA ワールドカップ」が日本と韓国の各地二〇ヶ所で熱い戦いを繰り広げた。

わが仙台市にも大会前からイタリア代表チームが合宿しており、熱心なサポーター、にわかサポーターがホテル付近一番町界隈で盛り上がりつつあった。ゲームは一次リーグ外国チーム同志でしたが、宮城スタジアム二試合共超満員でした。

六月十八日の試合は日本代表が一次リーグを一位通過という予想もしないことでしたので、あいにくの天気にもかかわらず、県内はもとより全国から政界、芸能界等有名人も多数来仙し、ベスト8進出を賭けてトルコと戦い、〇―と敗けはしたものの、あと百年は仙台でのゲームはないだろうといわれる現場にいあわせた幸せを満喫したと思います。



お知らせ

平成十四年度本部事業日程

冬山の集い

平成15年1月

泉が岳勤労者野外活動センター

認定員養成講習会

平成15年2月1日(土)・2日(日)

仙台市体育館二階研修室

指導者研修会

平成15年2月中

各支部毎

指導者母集団研修会

平成15年3月22日(土) 12時から

仙台市青年文化センターシアターホール

編集後記

次号は新年初稽古や寒稽古の特集を組んで見たいと思いますので、各部会の先生方ぜひ御投稿下さい。取材依頼があれば、優秀な記者とカメラマンを派遣致しますので本部広報委員会まで御連絡下さい。

木須勇治 (サッカー)
 田原龍子 (バスケット)
 西山和人 (空手)
 松浦文子 (トランポリン)
 天野あきよ (事務局)